

聖霊降臨節第2週 主日礼拝

2017年6月11日

第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(休会)

前奏	「トロイメライ」	奏者	楽	者
招きのみことば	『詩篇』126篇	司会	者	
※開会の賛美	新聖歌21「輝く日を仰ぐとき」	—	同	
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同	
代表祈禱	……………	司会	者	
感謝の賛美	新聖歌206「飼い主わが主よ」	—	同	
聖書朗読	『ヨハネの福音書』4章34-38節(新約180頁)	司会	者	
黙想	……………	—	同	
説教	「蒔く者と刈る者がともに喜ぶため」	長谷部愛実	師	
※応答の賛美	新聖歌430「われ主に従いまつらん」	—	同	
感謝の献金	(新聖歌55)	—	同	
感謝祈禱	……………	猪爪和美	姉	
諸報告	(来信・集会案内・来会者紹介・報告・暗唱聖句)	司会	者	
※頌栄の賛美	新聖歌62「天 ^{あま} つみ民も」	—	同	
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同	
※祝福の祈り	……………	長谷部愛実	師	
※後奏	(新聖歌59-8)	奏者	楽	者

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会 説教	近 伸之牧師	音響 献金	片山 勝三兄 沼田佐代子姉	
司集	会 会	片山 健司兄 小山 千春姉	映像・音響 奏	伊東 一馬兄 横山 洋平兄	C S 担当 掃除
			説教の録画	片山 勝三兄	片山 初子姉

説教メモ

今週の暗唱聖句

「ノアは、正しい人であって、その時代にあっても、全き人であった。ノアは神とともに歩んだ」
(『創世記』6章9節)

今週の中心聖句

「すでに、刈る者は報酬を受け、永遠のいのちに入れられる実を集めています。
それは蒔く者と刈る者がともに喜ぶためです。」
(『ヨハネの福音書』4章36節)

個人、団体からの来信

2017年6月11日

レスキュー・ノース・コリア
RescueNK北朝鮮宣教セミナーの案内[6月12日(月)午後1時30分～学院チャペルにて] /
新潟聖書学院より夏期講座のご案内[7月9日(日)～11日(火)新潟福音教会にて] /
PBAよりDVD/祈りのネットワーク/バイブルハウス南青山

先週の集会出席者数

6/4(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性2		
	第一礼拝	男2 女3	※月に一回、実用書道教室を開催	
	聖餐礼拝	男10 女20 計30	6/5(月)	月曜家庭集会 男2 女4
	(子ども)	男児1 女児4	6/7(水)	救 禱 会 男3 女3
	夕 拝	(休会)	6/9(金)	しゃべり場夕ピタ 女4 男児1 女児1
			6/9(金)	金曜祈禱会 男- 女4

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
6/12(月)	月曜家庭集会	(休会)	
6/14(水)午後7:30	新潟山形僚禱会	教会堂	司 会：片山 初子姉
6/16(金)	しゃべり場夕ピタ	(都合により休会)	問合先：長谷川睦子姉
6/16(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

6/18(日) 聖霊降臨節第3週			
第一礼拝 午前8:00	司 会：近 伸之牧師	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00		担 当：片山 初子姉	
第二礼拝 午前10:30	司 会：横堀 正美兄 集 会：笹川 清子姉 渡邊 智子姉	映像・音響：片山 健司兄 説教の録画：近 伸之牧師	感謝祈禱：片山 麻美姉 掃 除：片山 麻美姉

礼拝について	聖書：『創世記』9章1-17節		
主日の予定	カナン訪問	午後2:00～	担 当：渡邊 智子姉
夕 拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします		

報 告

- 1. 礼拝の感謝**
本日は長谷部愛実先生がタイ宣教についてデプテーションを行ってくださいました。感謝します。また、午後には村上でのデプテーションを控えておられ、昼食後1時には出発される予定です。なお、近牧師は村上福音キリスト教会において奉仕しています。
- 2. 宣教区の活動について**
昨日、村上福音キリスト教会の新会堂予定地に、宣教区の有志20名ほどが集まり草取りなどを行いました。天候の不安定な中でしたが作業が守られたことを感謝します。また明日は、午後1:30より新潟福音教会において宣教区教師会が持たれます。話し合いや祈りのときが守られますように。
- 3. 先週の来会者**
6月4日(日)聖餐礼拝に、^{すとうれいか}首藤玲果さん(敬和高1年)が出席されました。

岩手県の「ほっとゆだ」に行った時のことです。駅の構内に温泉があるので有名な所ですが、私も初めてその温泉に入りました。近くには洞窟温泉や砂の温泉などもある楽しい所です。

講演会に行ったのですが、この地域にある子どもの障害者施設の機関誌の記事に心が留まりました。「子育てではなく、子育て」と大きく見出しが書いていたのです。その施設の理事長と村の組合役員さんたちとの対話の記事なのですが、抜粋するとこんな内容です。

「子供の教育とは、子育てではなく、子育てが正しいのです。子供は自分で育つ。大人はそれを手伝うのではなく、環境を整えるのです。それは農作物を育てるのと同じ。苗は伸びるのであり、伸ばすのではない。子供を引っ張るような、ばかなことをする親もいる。植物が光合成で大きくなるならば、子供に対する光は親であり、感動の光である。子供が感動するようなことを大人がしていれば、それを感じて子供は、エネルギーを得て大きく育つ。農業と子育ては同じでいい」

なるほどと考えさせられました。さすが米どころ、豊かな自然の中での見識だと感心しました。現実には農業のようではなく、工場のような教育環境があるのも事実です。感動のない授業、機械的な暗記、自然から離れた科学教育、規則づくりの集団生活。そして受験戦争。

確かに言われるとおり、子育てを重んじ、環境を整えることが大切です。しかし、親や教師が光となる、感動の光を与えるということは実際には可能でしょうか。

私は4人の子どもを育ててきました。上の3人はボルネオ島の奥地で育ちました。考えてみても、自分が子どもの光となったり、感動の光を与えられたとは思えません。むしろ、失敗や足りなさをいつも感じていました。

自分では光となることも、光を与えることもできませんでしたが、「わたしが世の光」と言われたキリストを見上げ、信じていく。神に祈っていく。そんな自分の信仰と祈りだけが唯一、子どもたちへの影響のように思いました。私たち大人、親も、失敗や欠陥だらけの弱い者です。しかし、決して失望させない創造主に向かって共に生きる、共に祈る中に神の光を感じるように思うのです。そして、どんな人の心の奥深くにも届くキリストの模範、輝きを、子どもたちと共に学び、仰いでいく中に、子どもたちが育っていったように思うのです。

「わたしは世の光です
わたしに従う者は
決してやみの中を歩むことがなく
いのちの光を持つのです」
(『ヨハネの福音書』8章12節)

遠き帆に夕焼のある別れかな (永方裕子)



2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



6/17(土)「自然の恵みの中で描く」関口正人さん

群馬県高崎市在住の画家・関口正人さんは、子どもの頃から画を描くことが好きで、美術専門学校の講師を経て、現在は、絵画教室を開きながら、風景画を描く画家として活躍しています。また、中学生の頃、些細なことからいじめを受け、その悩みの中でキリスト教会に通うようになり、神様の愛を知って生きる希望を持てるようになったと言います。そんな体験談とともに、自然の中で画を描く恵みについてのお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

